

# 全老連

2019. **5** 第463号



## 「手話」で 楽しく交流

京都府舞鶴市  
ゆきながだいしん  
行永大新会

行永大新会では、「手話サークル」の10周年を記念した「集い」が開催されました。

手話の交流会が始まったのは平成19年で、以来聴覚障害のあるご夫婦を囲んで毎月2回、日常会話の手話を学んでいます。

今では町内の方々も手話で挨拶をかわしたり、笑顔で呼びかけ合えるようになりました。

手話サークルを通して会員同士の絆が深まり、また、市内で有名な与保呂川沿いの「桜並木」を清掃するなど、地域活動の輪が広がっています。

手話以外にも詩吟や手話うたの発表会への参加、85歳以上高齢者への友愛訪問やプレゼント作りなど、多様なプログラムが組まれています。

# 詐欺に注意、みんなで 高齢者の被害を防ごう！

## 留守番電話設定で詐欺を防ごう！

平成30年中の特殊詐欺の被害額は約356.8億円、依然として深刻な社会問題になっています。中でも「オレオレ詐欺」は、被害者の97%が高齢者です。そこで、全老連は、平成26年度から取り組んでいる「高齢消費者被害防止キャンペーン」（現在は第2期—平成29～31年度）の一環として、被害防止に向けたチラシを作成しました。被害防止に向けて、高齢者としてできることをみんなに伝えて、力を合わせて詐欺被害を防ぎましょう。

チラシの作成には、警察庁振り込め詐欺対策事務局にご協力いただきました。また、全国の特種詐欺予防担当者に対して、老人クラブとの連携強化が呼びかけられました。

### ■オレオレ詐欺が増加

特殊詐欺の認知件数は、平成29年まで7年連続で増加していましたが、平成30年は16,439件（前年比-9.4%）と減少、被害額も356.8億円（前年比-9.4%）と、平成26年以降4年連続で減少しています。しかし、認知件数も被害額も依然として高く、中でも「オレオレ詐欺」は、2年連続増加（+7.5%）しています。

警察庁の調査\*によると、被害者等（事業者や家族・親族の協力により被害にあわなかった人を含む）について、約7割の人が通話中に犯人側からトラブルの内容を聞かされる前に（電話を受けた時点で）、だまされている傾向がうかがわれます。理由は「声がそっくりだったから」が最も高い割合をしめています。

\*平成30年「オレオレ詐欺被害者等調査の概要」「特殊詐欺認知・検挙状況」（警察庁）



### ■広めよう！留守番電話作戦

親族になりすましたオレオレ詐欺の場合、犯人からの最初の接触方法は9割以上が家の固定電話です。留守番電話に設定することで、犯人に直接対応する機会を一旦遮断することができます。電話にでるときは、必ず名前を確認してからできるようにしましょう。高齢者の中には、家にいるのに留守番電話に設定することを嫌がる人もいますが、家族や友人、クラブのみんなに「留守番電話作戦」を広めて取り組めばなじみやすいと思います。



弁護士会や地域関係者と街頭で啓発活動（大阪府門真市老連）

## ■見守りサポーターを増やそう！

「高齢消費者被害防止キャンペーン事業」では、消費者被害防止の推進役として見守りサポーターの養成を呼びかけています。連合会で養成講座を開いたり、クラブで見守りサポーターを決めて取り組みましょう。

### 〈見守りサポーターの役割〉

- ・伝える 活動や日常生活を通じて、被害防止の情報を伝える。  
行政や関係者が発信する情報を役立てましょう。  
参考：「見守り新鮮情報」消費者庁のホームページから登録できます。
- ・気にかける 困っているサインや周辺の不審な様子を見逃さないように気にかける。  
本人 — 元気がない、気がかりなことがありそう、外出が増えたなど  
周辺 — 見慣れない人が家によく来ている、工事が長く続いている、ダンボールが家にたくさん積んであるなど
- ・つなげる 関係機関とのつなぎ役となり、被害防止に努める。  
啓発活動だけでなく、会員などから寄せられた事例や質問などについて、日頃から気軽に相談できるつながりをつくりましょう。



4年間で945名の見守りサポーター養成（神戸市老連）



### これまでの取り組み……………

第1期キャンペーン（平成26～28年度）は、全国50都道府県・指定都市、182市区町村老連で養成講座を開催して、13,000名を超える見守りサポーターが誕生しました。第2期も引き続き、「見守りサポーター」の養成、関係機関・団体と連携した被害防止活動の展開、そして、高齢者が主体となって被害防止に取り組む姿勢をアピールする広報活動を呼びかけています。

また、去年は、被害者という受け身の立場から主体的な立場に転じた「老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーン」を実施したことが高く評価されて、内閣府特命担当大臣から消費者支援功労表彰を受けました。

\*今回のチラシを使った情報提供、関係機関と連携した日常的な取り組みなど、クラブや連合会の活動を写真を添えて「全老連機関誌係」まで、お寄せください。



## 北から南から

地域おこしの「テーマ」を発見し、  
クラブが活性化鳥取県倉吉市 <sup>おがも</sup>小鴨シニアクラブ ●会員数 188 名 (男性 85 名、女性 103 名)

## 伝統的な農具への問い合わせから

記憶を呼び起こすことで自尊心の高まりなどを促す「回想法」の普及活動に、鳥取県出雲市の鈴木正典医師が取り組んでおられます。先生は、全国の古い農具や風習を集めて講演材料に使われており、倉吉・小鴨地区で明治期に発明された「太一車」という農具(除草器)を知り、一度、実物や現地を見学したいと公民館に電話がありました。

公民館から連絡が入り、当シニアクラブが対応することになり、せっかくなら回想法セミナーをしていただけないか、とお願いしました。

先生からの提案で、この身近な道具や体験を10分ほどの「寸劇」に仕立てて、講演内にやってみることになりました。

この寸劇は、古さ加減が程よく、「若いころ苦労したこと」や「助け合い」「村の行事や歌など」が思い出され、公民館や福祉施設にて数名で行っているうちに農業新聞などにも取り上げられ、有名になりました。

調べてみると、中井太一郎という農家が発案者で、明治25年に特許が取得され、現在でも太一車は生産されて海外にも広まっており、アフリカでは現在でも使われているそうです。



講演の上演



各地で上演した寸劇の舞台

## 講演の新作から、舞台発表に発展

倉吉市には「豊田家住宅」という古民家(国の登録有形文化財)があり、ここで開催されている「豊田亭」の講釈師・協坂幸司(松風軒倉山)さんに新作の演目として『日本型稲づくりの礎 老農・中井太一郎』に取り組んでもらうことになりました。初演は小鴨公民館で、クラブ会員をはじめ農業、教育関係者など約80人の観客を前に大盛況でした。

参加者からは「太一車を広げよう」との声が上がり、①マンガ冊子 ②歌の創作とコーラス ③これに寸劇を合わせた舞台発表 ④夏祭り行進・パフォーマンス ⑤創作餅「太一のき餅」など、「太一車」を題材に、クラブ会員や応援団活動で地域がいきいきしてきました。

そして全国各地に太一車の「文献の問い合わせ」をしたりすることで、稲作を通じた「地域おこし」事例の交流が始まり、各地とも日本の食や伝統の重要性を共感してもらい、活動は拡大しています。

今後は、シニアクラブ会員を含む年配者の知恵や経験を生かすグリーンツーリズムや、インターネットの活用も考えています。

(会長 北村 隆雄)

北から南から

# 避難先でも活動を継続 小学生との交流

福島県とみおかまち富岡町老人クラブ 郡山会 ●会員数 405 名（男性 172 名、女性 233 名）

福島県浜通り中央に位置する富岡町は、太平洋に面し、人口 16,000 人弱、夜ノ森地区には 2.5 キロにわたる桜並木トンネルの名勝地として、全国にも知られる観光スポットがあります。富岡高等学校は、サッカー、バドミントンでは世界でも活躍する選手を多く出してきました（現在休校）。

しかし平成 23 年 3 月 11 日、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故により一変し、全町民は避難を余儀なくされ、町行政機能は急きょ郡山市に置かれました。緊急災害応急仮設住宅に入居し、学校は隣町の三春に、休業中の工場を改修して開校しました。

10 か月後には「富田仮設住宅老人会」を郡山の仮設住宅内で立ち上げました。全国の多くのクラブから多人な激励とご支援をいただきました。この紙面をお借りして感謝と御礼申し上げます。

## 小学生との交流が始まる

県老連からの指導もあり、6 年前から小学生との交流が始まりました。三春町に移転した小学校と、低学年ではお手玉、ゴム跳び、シロツメグサ飾り作りなどの昔遊び、中高学年では故郷の昔話などをしました。子供たちも故郷の未来を心配しており、「おじいちゃん、おばあちゃんたちは、帰るの、帰らないの？」「その理由は？」「僕たちに将来どのように関わってほしいか」などの質問



昔の遊びを伝承



運動会に参加があり、返答に困る場面もありました。故郷を思う真剣な眼差しが印象づけられました。

## 運動会での踊りを指導

昨年の運動会は、富岡校合同の、三春校での開催となりました。子供 40 人に、応援は 200 人以上の会員が参加して、盛況でした。練習で教えた「うちわ踊り」で最後を飾り、子供たちと避難者同士の絆を深めました。

しかし、2021 年 3 月には三春校は閉校となり、富岡に統合されます。残された短い期間ではありますが、子供たちの成長を見守り続けたいと思います。郡山市内で近くの並木幼稚園（園児 220 人）とも交流しています。

一昨年 4 月には帰宅困難区域が、一部を除いて解除され、役場は富岡町に戻り、郡山、いわきに支所を置いています。

富岡町老人クラブ（会長・秋元俊男）も、郡山会、いわき会、富岡会の 3 支部で活動しています。

平成 29 年度の 305 名に対し、30 年度は 405 名と会員は増加しています。会員増はなかなか難しく、まずは楽しい集まりを多くつくるのが一番です。

（副会長 坂本 正男）



いちようだより

## 第48回 全国老人クラブ大会を 埼玉県で開催します。

今年度の全国大会は、四季折々の豊かな自然に恵まれた「彩の国」さいたま市において埼玉県老連と共催で開催します。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

### 日程・内容

1日目 11月26日(火) 13:30～16:30 活動交流部会

〈会場：彩の国さいたま芸術劇場〉

第1部会 (活動発表) 高齢者の健康づくり・介護予防活動の推進

第2部会 (活動発表) 高齢者の支え合い活動の推進

第3部会 (舞台発表) 演じる活動

2日目 11月27日(水) 9:30～12:00 講演、式典(表彰、宣言等)

〈会場：大宮ソニックシティ〉

**参加費** 1名 5,000円

参加申し込みは、都道府県・指定都市老連において取りまとめをお願いしています。

なお、個人での参加希望は全老連へ直接申し込みください。

全老連への直接申し込みは、電話、FAX または葉書等でご連絡ください(8月30日締切)。  
詳しい大会開催要綱は、全老連ホームページに掲載します。

## 全老連創立60周年記念 会員章を作成

2022年(令和4年)、全老連は創立60周年を迎えます。これを記念して、新たな会員章を作成しました。記念会員章を着用して、老人クラブの輪をさらに広げましょう!



1口 1,000円

期間限定 2019年～2022年

直径17mm タック式



## 手作り旗を作製

佐賀県佐賀市蓮池校区老連  
会長 今泉 多美子

平成30年度、私たちの老人クラブでは女性部長の発案で、老人クラブの活動をしていく中で、地域の人たちにも活動を知ってもらいたいと思い「老人クラブの旗」を作って活動していることを知ってもらいたいと、女性部会員の皆さんが手作りで作製しました。

佐賀市老連での女性グラウンド・ゴルフ大会では「蓮池校区老連」が参加していますよと解るように2本の旗を持参しました。他にも佐賀市老連のゲートボール大会やペタンク大会、演芸大会等にも持参しています。

この旗を作ったことで、私たちの老人クラブの活動を地域の人に知ってもらい、老人クラブへの加入促進にもつながっています。

私のクラブの  
“オリジナル”



## みんなのひろば

### 冷凍チューリップ

大阪府阪南市 石田老人会  
会員 谷為 暲

私は花づくりが好きで、幼少の頃より今の年齢まで作り続けています。種まきから育てるのが楽しみで、チューリップなども球根から育てます。生育の過程が好きなのです。

花が咲けば写真を撮り、自分でプリントします。花のシーズンには庭いっぱいの花で、表通りに行く人に「きれいですね」と声をかけられる時が一番うれしいです。

チューリップは普通4～5月でなければ花は咲きませんが、球根を冷凍してから畑に植

えます。チューリップは春と勘違いして花を咲かせるのです。昨年正月には孫たちとチューリップを楽しみました。

なんといつまでも元気でられるのも趣味があってこそ。まだまだ花づくりを続け、“100歳まで元気”をめざします。



2020年、  
さすがJAPAN!  
って言われたいよね。

私たちはすべての挑戦を応援します。  
*To Be a Good Company*  
**東京海上日動**  
東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050

TOKYO 2020  
OLYMPIC GAMES

TOKIO MARINE  
NICHIDO

TOKYO 2020  
PARALYMPIC GAMES

東京2020 ゴールドパートナー（損害保険）

**SOMPO**  
ホールディングス

保険の先へ、挑む。

**損保ジャパン日本興亜**

損保ジャパン日本興亜はSOMPOホールディングスの一員です。

**損害保険ジャパン日本興亜株式会社**  
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
Tel:03-3349-3111 <https://www.sjnk.co.jp/>

立ちどまらない保険。

MS&AD

三井住友海上

**異動報告**

**全老連事務局**

〈4月1日付任命〉 事務局長兼総務部長 **正立 斉**（前総務部長）

〈4月1日付任命〉 業務部長 **岡本まゆみ**（前業務部参事）

**編集後記** 新天皇の御即位とともに「令和」時代の幕が開きます。30年の歴史を重ねた「平成」。いま、テレビや雑誌などでは、平成に起きた出来事を振り返る特集が盛んに組まれています。“そう言えばそんな事もあった”。思い出されている方も多いのではないでしょ

うか。一方、我が国では平成に起きなかった出来事もあります。それは「戦争」です。多くの犠牲と国民の努力により手にした「平和」。平成から令和へと時代が変わっても、この宝だけは永く引き継いでいかなければならないと強く思います。 (正)